

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.110 2004.9.1

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15(学)産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246
E-mail:JSEI@hj.sanno.ac.jp http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei

***** 第20回定時総会報告 *****

8月18日(水)13:00から国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、日本教育情報学会第20回定時総会が開催されました。

正会員477名のうち97名の出席があり(委任状による出席50名を含む)、定款27条により総会は成立し、木田宏会長を議長として総会を開会しました。

提案された2議案 第1号議案 2003年度事業報告及び収支決算の件
第2号議案 2004年度事業計画及び予算案の件

は、審議の結果、原案通り承認されました。(議案内容はNewsletter NO.109をご参照ください)

報告事項 深谷基金教育情報研究プロジェクトについて、報告と公募の案内がありました。(募集要項は別冊をご参照ください)

総会終了後、日本教育情報学会賞受賞者の表彰式を行いました。

..... 2004年度 日本教育情報学会学会賞受賞者

奨励賞 (3件)

前年度の学会研究発表大会において発表された優れた研究の中から選考する。

- ・岡村 吉永 (山口大学)「技能情報を加えた習字教材とその効果」
- ・神月 紀輔 (滋賀大学教育学部附属教育実践総合センター)
「中学校数学教員を対象としたWebベースの教育実践支援交流システムの開発」
- ・益子 典文 (岐阜大学)「理科学習における事例外挿法によるストーリーミング学習コンテンツの開発」
(いずれも2003年第19回年会発表)

論文賞 (該当なし)

学会誌『教育情報研究』に掲載された論文のうちで特に優れたものに対して授与する。この賞は必ずしも毎年授与されるとは限らず、該当論文が得られた場合にのみ表彰する。

特別賞 (該当なし)

日本教育情報学会第20回年会は、東京都心身障害教育学校情報教育研究協議会の共催、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、東京都教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、さいたま市教育委員会、財団法人 コンピュータ教育開発センターの後援をいただき、8月18日(水)19日(木)、国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に、約220名の方の参加を得て、盛会のうちに開催されました。

今年度の大会は、特に「教育情報、20年の歩み」という大会スローガンを掲げました。「教育情報の20年の歩み」と題した記念講演では、木田会長から、終戦直後から続く教育の歩みについて、特に視聴覚教育、教育情報を中心に、内側から見た貴重なお話を伺いました。学会設立時からご尽力いただいている有蘭格先生(星槎大学)と後藤忠彦先生(岐阜女子大学)を交えた鼎談では、側面からの見方を加え、より深いお話を聴くことができました。

「21世紀のリテラシー」と題したパネル討論は、本郷健先生(川村学園女子大学)がコーディネータを務め、堀口秀嗣先生(常盤大学)にアメリカの動きをもとにした基調提案をいただいた後、堀田龍也先生(静岡大学)、山下成明先生(さいたま市教育委員会)、日下部和彦先生(江戸川区松江小学校)をパネリストに、各先生が実践しておられる事例を踏まえながら、今後の方向性について話し合いが行なわれました。さらに今回は、e-教科書研究会による自主シンポジウムを行い、企業と学校現場との協同による議論を深めました。

研究発表は、課題研究として「学習環境の開発」「e-Learning」「教師教育と生涯教育」「教育情報の流通」「教科“情報”のあるべき姿」「教育と著作権」の6つのテーマに27件の発表が行なわれました。また、一般研究は「教育システム」「教育情報の分析・評価」「電子コミュニケーション」「プレゼンテーション」「教材コンテンツ」「情報教育一般」に加え、東京都心身障害教育学校情報教育研究協議会との共催による「特別支援教育」のセッションを加え58件の活発な発表がありました。周到に準備された発表と熱心な質疑応答を通じて、これからの教育が目指すべき方向性を見出すことに寄与した内容といえるものでした。

1日目夕刻に開かれた懇親会には、60名ほどの方がご出席されました。会場のあちらこちらでは、記念講演、パネル討論の熱気が継続したのか、和やかな雰囲気の中にも活発な意見交換をする光景が見受けられました。

教育情報学や教育工学の研究者、実践者、関係者である参加者の皆さんが一堂に会し、研究発表やディスカッションを通じて、教育の基本を問う哲学、教育内容、さらに教育方法について意見を交わし、英知を傾けてこれらの問題に取り組んだ2日間を通じて、各々の方が、教育の新しい方向性を見出すことに寄与できたのではないかと考えております。第20回年会は、盛況のうちに終えることができ、晴れわたった空のような満足感で、皆さん帰路につかれたようでした。

年会成功のため、1年近くにわたり準備から当日運営まで、お手数をおかけいたしました井口実行委員長をはじめ、十文字学園女子大学、川村学園女子大学を中心とした年会実行委員会の皆さまに、心からお礼申し上げます。

- ・第20回年会論文集をご希望の方は、学会本部事務局あて、郵便振替にてお申込みください。
1冊3,500円。口座番号 00130-7-50424 加入者名 日本教育情報学会 通信欄に「年会論文集 冊」とご記入ください。
- ・記念講演、パネル討論の概要は後日「教育情報研究」に掲載する予定です。
- ・2005年度第21回年会は、8月下旬に滋賀県で開催する予定です。詳細が決まりましたら、改めてご連絡いたします。